

# TEIはなぜ日本で知られなかった、知られていないか、知られるようになるか

土屋俊（千葉大学）

日本は、その第1回準備会議から参加者を派遣し、P2段階までも関与をつづけてきたが、それ以降は個人的関与にとどまり、TEIについて知る人文社会系研究者は現在もきわめて少ない。この原因はたんに関心の程度が低かったからではなく、日本の人文社会科学研究がもつ文献概念、文献利用の実態によるものであることを示す。これに基づいて、そのような文献概念、文献利用の実態が1990年以降どのように変化しているか、そして領域によっては変化していなかを明らかにして、日本の(広い意味での)文献を電子化して保存することに対する課題を明確にし、あわせてその解決方法を提案する。